

六甲台就職相談センターのミッション ～相談員の役割～

昭48 菅 浅田 恭正

「六甲台就職相談センター」は2005年に当時の経済学研究科長、凌霜会、そして凌霜出身の企業OBの三者が協議、検討して発足しました。当時は神戸大学の就職支援体制も今のように整っておらず各部局が独自に進めていたというのが実態でした。そして神戸大学全体の組織としてキャリアセンターが創設されました。「六甲台就職相談センター」は当初、ボランティア的な性格で発足したのですが、その後、当センターに相談に来る学生は年間で延べ2,000名を超えるようになり、現在に至っています。

「六甲台就職相談センター」設立の志は「神戸大学を卒業して就職をする学生たちがこれからを見据えて、自分の進路をどう考え、決めていくかをサポートしていく」といったものでした。そのために企業で40年近く仕事に打ち込んできた凌霜OBが学生諸君に寄り添い、企業のこと、仕事のこと、そして具体的な就職活動のことをアドバイスし、支援していくことを当センターのミッションとしてこれまで15年間取り組んできました。そこでの主体はあくまで学生です。我々相談員の役割は学生諸君の思いを聴き、その中に潜むファクトと本質を見極め、これからの仕事への道標となるべくサポートしていくことなのです。

本来、人間は一人ひとり違うものです。まずはそのことを皆が十分に理解して認め合うことが大切です。すべての人に対して同じように接するのが良いわけではありません。「区別」はあってしかるべきです。考え方や経験が一人ひとり違って人に区別なく同じように対応することは見方を変えれば「差別」につながります。社会や組織においては、平等に与えられたチャンスに対して取り組んだ成果・結果が、能力×意欲×適性の観点から適正に評価されていくことが大切です。

就職活動においても同じことが言えます。

内定を取るチャンスは少なくとも神大生には平等にあります。しかしながら就活の結果・実績である「内定」というゴールに差が生じるのはまさに「能力×意欲×適性」の結果です。

我々相談員の役割は面談を通して「就業力」という「能力」を培ってあげること、企業や仕事の理解を深めて就業「意欲」を醸成してあげること、そして業界・企業の実情

と本人の「適性」を指摘してアドバイスし、マッチングのバックアップをしてあげることではないかと思います。

学生が初めての経験であり、また正解のない就職活動に取り組むにあたって、自らが考え抜いて自分なりの「解」を見つけていかなければなりません。そのための行動の一つとしてセンターに足を運び、相談員と話を進め、深めていく中で成長していき、「能力×適性×意欲」が高められ、結果として内定につながっていくのだと思っています。

私はコロナ前には毎年、延700人から800人、実人数では毎年200人前後の学生と面談しています。つくづく思うのは「学生一人ひとり、皆違う」ということです。人となりや性格・個性はもちろんのこと、これまでの経験、思うこと、悩んでいること、仕事や将来へのビジョン等々、みんな違っていています。そんな学生一人ひとりとまさにオーダーメイドで日々相談に乗っています。これまで接してきた学生の中でも印象に残る学生が数多くいます。

内定がもらえず何度もあきらめかけながらも就活を頑張り続けて最後に満足できる企業に内定を取った学生、ポテンシャルは持っていながらそれに気づかず、そんな自分にマッチする企業が見つけれず苦労した学生、熱い思いを持ち続けて就職留年をして努力を重ね、念願の業界の企業に内定した学生等々数え切れません。こんな学生たちは初めての就職活動に戸惑い、悩みながら何度も当センターに足を運んできたものです。そうした努力を積み重ねていって最終的には自分の満足できる企業に内定をもらいました。こんな彼ら・彼女らに共通するのが「自分で考える力」「他者と関わりを築く力」を持っていること、そして何よりも「誠実」である人たちです。

このような学生たちの中で今も交流を続けている人がたくさんいます。入社した企業で幅広い職場を経験して順調にステップアップしていている人、新しいステージを見つけ、違う業界の企業に転職した人、結婚して家庭を持ち仕事、家事の両立に頑張っている人など、本当に様々です。このように大きく成長していている優秀な学生たちも就職活動では例外なく苦労してきたのです。それを乗り越えて社会で力強く歩み続けている「わが教え子たち」に心から拍手を送りたいと思います。そしてこれからの社会を支え、さらに大きく発展させていってくれるこのような後輩たちと出会い、交流を持っていることに私自身、何よりも感謝したいと思っています。

私は、大阪ガス株式会社を定年退職した後、縁あって六甲台就職相談センターの相談員になり、今年で丸12年になります。初心にかえて、これからも六甲台就職相談センターのミッションをしっかりとわきまえたうえで、微力ながら相談員の役割を果たすことのお手伝いできていければと考えています。

以上